

1184

1184

編 號	B 200	保 期	3	20	永
關 係		機 期	(送付發)	(送精完)	永
		機 種			

綴書類

昭和十二年九月

日起案

起案者
捺印
佐々

月

日發付

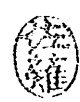
捺印

發付後起
案者捺印

主務局、部
取扱者捺印

(主務)人事局長

第一課長 德永局員



大臣

求常

副官

書記常

上奏案

海軍兵曹長從七位勲七等

安田 清作

長嶺應召員

海軍兵曹長勲七等

大井 玄三郎

任海軍特務少尉

海祕人第三七六號

局部受月日發月日	官房	軍務	人事	教育	軍需	醫務	經理	建築	法務	航空	艦政	軍令

右謹ニテ奏ス

昭和十二年九月二十七日

大臣

進達案

昭和十二年九月二十七日

大臣

内閣總理大臣宛

安田、大井、函海軍兵曹長任用ノ件、海軍武官任用令第二十三條第一號ニ依リ別紙上奏書進達ス。

右ハ何レモ上海海軍特別陸戰隊附トシテ勤務中、九月二十五日上海ニ於テ支那軍ト交戦、際傷痕ヲ受ケ危篤ニ陥リタルモノニ付九月二十五日附命令相成度

迨テ大井海軍兵曹長ハ昭和十年十一月一日豫備役被仰付、

(富井納)

昭和十二年八月十九日 交員召集也
ノモリニ録
ヲレタルモノナリ、

母

母

秘

人事局

二課別

(本田)

一二九 二六〇〇二五 東通受 (五六八三)

官人三三
一

上陸特設司令官

大 臣 (横、吳、三艦隊各長官)

機密第八四二番電

至至急 信

上陸特設附

兵曹長安田清作 (ホ三二七) (左胸部盲管砲彈彈片創) 同大井玄三郎 (

被刃者

コ一六一九) (右胸部紛碎) 二十五日午後五時三十分江灣路開林公司附

近ノ戰鬪ニ於テ各戰傷ヲ受ケ危篤絶望同日特殊任用至當ト認ム

二五十二三時

海軍

人事局

秘

一二九二六一一〇〇 東通受 (五七五六)

横 領 長 官

人官 三三

(木田納)

二課別

大 臣

機密第七八七番電

安田(ホ三二七)二十五日午後三十分江灣路開林公司附近ノ戦闘ニ於
テ左胸部盲管砲彈片創ノ戦傷ヲ受ケ危篤絶望、同日附其ノ上官ニ特殊
任用至當ト認ム。

二六一一〇時

海 軍

報電

人事局

一二九二六一二〇三 有線室受 (五七七三)

吳 錦 長 官

大 田

電 報 至

急 務 展 開

應召兵衛長大井玄三郎 (一六一九) 二十五日上海方面ノ取調ニ於テ職傷ヲ受ケ危篤(絶望)ノ旨上海特派司令官ヨリ電アリ
特殊任用論詮議アリ度。

二十六日

海 軍

第 電
十 信
課 課

第一課長 徳永局員



昭和十二年八月廿九日

海軍省人事局長

横須賀人事部長

呉人事部長

宛

上海特別陸戦隊司令部

電報

九月廿九日午後三時十五分(無線)發着



2390

安田(ホニニシ)大井(コ一六一九)九月二十五日附特務少尉ニ任用
今日附大井正八位ニ叙セラル

海

軍

150.7

辭令領收證

領收者官氏名印	領收年月日	文令辭	昭和十二年九月二十五日辭令是通
海軍中佐瀨谷三郎	昭和十二年十月一日	海軍少曹長從七位勳七等安田清作 任海軍特務少尉	


(海軍省人事局)

注

身

2611

辭令領收證

領收者官氏名印	領收年月日	文 令 辭		昭和十二年 九月 二十五日 辭令 一通
		海軍兵曹長 大井玄三郎 在 海軍特務少尉		
吳海軍本部 中島千尋 	昭和十二年 十月 二日			

(海軍省人事局)

海

軍